

環境法令の遵守状況

愛知県豊田市にある4工場並びに鹿児島県出水市にある1工場において、2016年度は環境関係の規制基準の超過はありませんでした。

ばいじん、NOx

対象事業所	ばいじん (規制値:0.2g/m ³ N)	NOx (規制値:70~200ppm)
本社工場	<0.0002~0.0091g/m ³ N	<9~42ppm
細谷工場	<0.0002g/m ³ N	11~24ppm
幸海工場	<0.0002g/m ³ N	<9~36ppm

各種装置ごとに測定した結果をまとめて表示しています
<は定量下限値未満を示しています

トリクロロエチレン

対象事業所 ※1	地下水測定データ	回収量 ※2
本社工場	<0.000~2.36ppm	80.53kg
細谷工場	<0.000~0.090ppm	0.34kg

計画的な測定、対策と定期的な行政への報告を継続しています。

※1 上記以外の事業所では検出されていません
※2 回収量は官公庁へ届出している社内の算出値です

ダイオキシン類

対象事業所	対象設備	測定結果 (規制値:5ng-TEQ/m ³ N)
本社工場	アルミ集中溶解炉	0.00000069ng-TEQ/m ³ N

PCB含有機器 保管量

保管事業所	保管台数	処分台数
本社工場	0台	—
細谷工場	蛍光灯安定器等 154台	14台

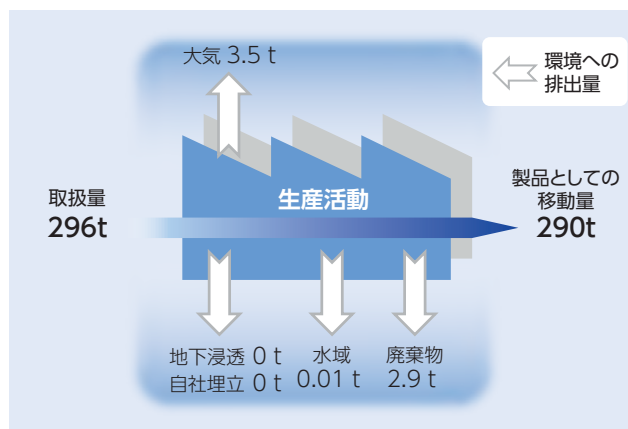
PCB廃棄物処理基本計画の変更を受け、含有機器の再調査と処分を実施しました。

放流水質(有害物質項目)

対象事業所	項目	測定結果 (カッコ内は規制値)
本社工場	鉛およびその化合物	<0.02mg/L (0.08)
	ホウ素およびその化合物	<0.05mg/L (4)
	アンモニウム化合物、硝酸・硝酸化合物	1.1~5.1mg/L (20)
細谷工場	鉛およびその化合物	0.01~0.02mg/L (0.08)
	ホウ素およびその化合物	<1.0~2.0mg/L (4)
	フッ素およびその化合物	<0.1~4.3mg/L (8)
	アンモニウム化合物、硝酸・硝酸化合物	<0.1~8.0mg/L (20)
幸海工場	フッ素およびその化合物	<0.1mg/L (8)
	アンモニウム化合物、硝酸・硝酸化合物	<0.1~9.0mg/L (20)

篠原工場、九州工場では有害物質を使用していません

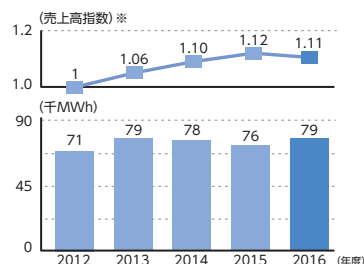
PRTR法に基づく 排出・移動量



企業活動に伴うマテリアルフロー

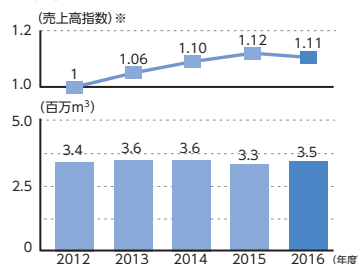
投入資源

●電力量



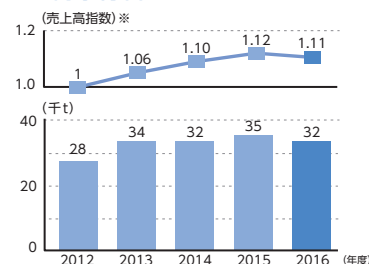
軸受素材の生産増加により、電力使用量は増えています。

●都市ガス



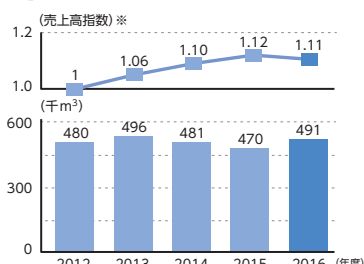
生産設備の炉や空調で使われており、使用量は横ばいです。

●金属原材料



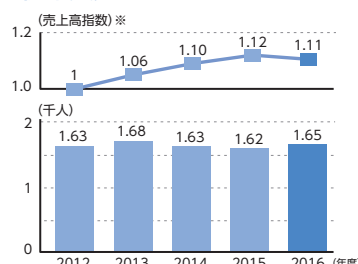
軸受素材の生産量に応じて推移しています。

●水



めっき製品のライン設置により水使用量は増加しています。

●従業員数



計画的な雇用を維持しています。

※売上高指数
2012年の売上を1とした場合の、売上の伸び率

生産活動



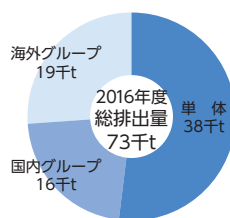
●社内循環資源量(ダイカスト製品)



ダイカスト製品の生産量に応じて推移しています。

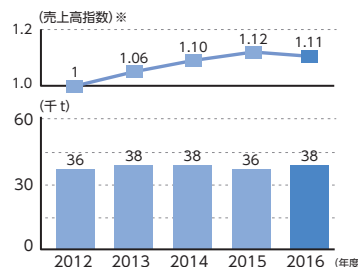
排出量

●大豊グループ全体の温室効果ガス(CO₂)総排出量内訳



海外グループのCO₂排出量の比率が上昇しています。

●温室効果ガス(CO₂)総排出量



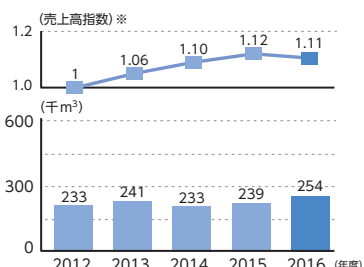
軸受素材の生産増加により、CO₂排出量が増加しています。

●廃棄物総排出量



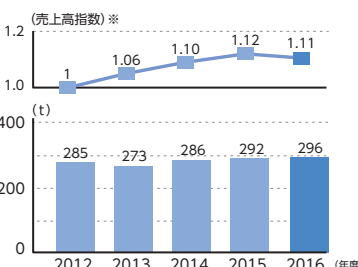
改善活動により減少しています。

●放流水量



水使用量の増加に伴い、社内排水処理量も増加しています。

●PRTR法対象物質取扱量



製品の評価試験に使用するガンソリンが増えたため、増加しています。